

匠とともに考える
ものづくりと地域の未来

工芸と 工業の次

第2回産地
カンファレンス in 高山 2018



日時 | 平成30年5月18日(金) 13:30~17:30

会場 | 飛騨・世界生活文化センター 飛騨芸術堂 他

内容 | 基調講演 / パネルディスカッション1 / パネルディスカッション2

[ゲスト | 岡田 賢三 / 赤木 明登 / 鞍田 崇 / 中川 政七 / 平田 オリザ / 神山 典士]

[特別企画 | 飛騨春慶弦楽器・四重奏]

費用 | 入場無料(要事前申込)

主催 | 一般社団法人 日本工芸産地協会

協賛 | 西日本旅客鉄道株式会社・株式会社日本政策投資銀行

後援 | 経済産業省・経済産業省中部経済産業局・岐阜県・高山市・独立行政法人中小企業基盤整備機構・
日本商工会議所・高山商工会議所・飛騨地域地場産業振興センター・飛騨木工連合会

協力 | 飛騨産業株式会社・岐阜県立高山工業高等学校

|| 同時開催 ||

懇親会

[5/18 19:00~21:00]

工場見学会

[5/19 9:00~11:30]

日本の工芸を取り巻く現状は極めて厳しく、需要の縮小、原材料の枯渇、産地の構造問題、ものづくりの担い手の確保など、解決すべき問題が山積しています。岐阜県高山市には、豊かな自然と脈々と受け継がれる飛騨の匠と呼ばれる優れた職人の技術があり、それを補う工業機器を受け入れることで工芸と工業の調和を見事に実現するとともに、家具の産地として独自の成長を遂げています。また、家具職人の育成が域内で活発に行われ、あらたな担い手として多くの未来の匠をうみだしています。工芸、産地の担い手が飛騨高山に集い、これからのものづくりのあり方を問いかけます。そして、ひとつづくり、まちづくり、そして教育を通じ、どのようにして地域へ人々の関心を集め、高めていくべきか、気づき、学びを得るとともに、考える場として産地カンファレンスを開催いたします。

- カンファレンス** **日時** 平成30年5月18日(金) 13:30~17:30 **場所** 飛騨・世界生活文化センター・飛騨芸術堂 **会費** 無料 **定員** 500名
〔住所: 高山市千鳥町900-4 TEL:0577-37-6111〕
- 基調講演 1** 飛騨の匠を育てる 〔講師: 飛騨産業株式会社 代表取締役社長 岡田賛三氏〕
- パネルディスカッション 1** 工芸と工業の次 〔登壇: 赤木明登氏/明治大学 准教授 鞍田崇氏/株式会社中川政七商店 代表取締役 中川政七氏〕
- パネルディスカッション 2** 地域で生きる、地方ではたらく 〔劇作家・演出家・青年団主宰 平田オリザ氏/作家・(株)バザール・東京藝大主宰 神山典士氏〕
- 特別企画** 飛騨春慶弦楽器・四重奏
- 懇親会** **日時** 平成30年5月18日(金) 19:00~21:00 **場所** ひだホテルプラザ 吉祥の間 **会費** 8,000円 **定員** 100名
〔住所: 高山市花園町2丁目60番地 TEL:0577-33-4600〕
- 工場見学会** **日時** 平成30年5月19日(土) 09:00~11:30 **場所** 飛騨産業株式会社 第一工場・第二工場・飛騨職人学舎 **定員** 100名
〔住所: 高山市漆垣内町3180 TEL:0577-32-1001〕

● 岡田 賛三氏 Sanzou Okada 〔飛騨産業(株) 代表取締役社長〕



1943年、岐阜県高山市生まれ。1968年、立命館大学卒業。(株)富士屋代表取締役社長などを務め、2000年、飛騨産業(株)代表取締役社長に就任。廃棄されていた木の節を使った「森のこぼし」シリーズや、国産杉を圧縮加工して使用した「HIDA」シリーズなど、ヒット作を次々と生み出す。生産体制の見直しや国内外の有名デザイナーと家具を製作したりと、改革を行った結果、就任からの14年で年間売上50億円を達成。近年は、若手育成を目的とした飛騨職人学舎の設立など、活躍の場をますます広げている。著書:『よみがえる飛騨の匠』(幻冬舎)

● 赤木 明登氏 Akito Akagi 〔漆作家・塗師〕



塗師。1962年生れ。中央大学文学部哲学科卒業、編纂者を経て、1988年に輪島へ。輪島塗の地下職人・岡本進のもとで修行。1994年に独立。現代の暮らしに息づく生活漆器=「ぬりもの」の世界を切り開く。1997年ドイツ国立美術館「日本の現代塗り物十二人」展、2000年に東京国立近代美術館「うつわをみる 暮らしに息づく工芸」展、2012年オーストラリア国立応用美術館「もの 質実と簡素」展に招待出品。著書:『漆 塗師物語』(文藝春秋)、『美しいもの』(『名前のない道』(ともに新耀社)、『二十一世紀民藝』(美術出版社)

● 鞍田 崇氏 Takashi Kurata 〔哲学者〕



哲学者。1970年兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。現在、明治大学理工学部准教授。理工学研究科新領域創造専攻安全学系を担当(2017年度より組織再編により建築・都市学専攻総合芸術系と兼務)。近年は、ローカルスタンダードとインティマシーという視点から、工芸・建築・デザイン・農業・民俗など様々なジャンルを手がかりとして、現代社会の思想状況を問う。著作:『民藝のインティマシー 「いとおしさ」をデザインする』(明治大学出版会 2015)など。

● 中川 政七氏 Masashichi Nakagawa 〔十三代 中川政七 代表取締役社長〕



1974年生まれ。京都大学法学部卒業後、2000年富士通(株)入社。2002年に株式会社中川政七商店に入社し、2008年に社長就任。2016年に「中川 政七」を襲名。「日本の工芸を元気にする!」というビジョンのもと、業界特化型の経営コンサルティング事業を開始。2015年には独自戦略により高い収益を維持している企業を表彰する「ポーター賞」受賞。「カンブリア宮殿」などテレビ出演のほか、経営者・デザイナー向けのセミナーや講演歴も多数。著書:『経営とデザインの幸せな関係』(日経BP社)『日本の工芸を元気にする!』(東洋経済新報社)

● 平田 オリザ氏 Oriza Hirata 〔劇作家・演出家〕



1962年東京生まれ。劇作家、演出家。こまばアゴラ劇場芸術総監督、劇団「青年団」主宰。城崎国際アートセンター芸術監督、大阪大学COデザインセンター特任教授、東京藝術大学 COI研究推進機構特任教授、四国学院大学客員教授。1995年「東京ノート」で岸田國士戯曲賞受賞。2011年仏国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。全国自治体との関わりも多岐にわたり、豊岡市文化政策担当参与、岡山市東区義町教育・文化まちづくり監もつとめる。著書:『経済成長なき幸福国家論』(毎日新聞出版) (藤谷浩介氏共著)

● 神山 典士氏 Norio Kohyama 〔ノンフィクション作家〕



1960年生まれ。信州大学人文学部卒業。TV雑誌記者を経て1987年よりフリーランス・ライターに。1996年「ライオンの夢、コンデ・コマ=前田光世伝」にて小学館ノンフィクション賞優秀賞受賞(現在は「不敗の格闘王、前田光世伝」(祥伝社黄金文庫)。2011年「ピアノはともだち、奇跡のピアニスト辻井伸子の秘密」(青い鳥文庫)が全国読書感想文コンクール課題図書選定。2014年「佐村河内事件報道」により、第45回大宅壮一ノンフィクション賞、日本ジャーナリズム大賞受賞。現在は長野県小布施町、東京都墨田区と組んで「知られざる北斎」(仮)執筆中。

● 高山へのアクセス



J R	東京(東海道新幹線)・名古屋(高山線)・高山 [約4時間30分]
	東京(北陸新幹線)・富山(高山線)・高山 [約4時間]
	関西(東海道新幹線)・名古屋(高山線)・高山 [約4時間]
	関東・関西(東名・名神高速道路)・一宮JC(東海北陸道)・飛騨清見JC・(中部縦貫道)・高山
自 動 車	北陸方面(北陸自動車道)・小矢部南渡IC(東海北陸自動車道)・飛騨清見JC・(中部縦貫道)・高山
	信越方面・松本・安房峠・平湯・高山市内
	諏訪方面(中央道)・土岐IC(東海環状道)・美濃IC(東海北陸自動車道)・飛騨清見JC(中部縦貫道)・高山

● 高山市内のアクセス



当日は高山駅からカンファレンス会場へのシャトルバスが運行されます。

高山駅発	12:10発	12:15発	12:30発	12:35発	12:40発	12:45発
飛騨センター 行	12:25着	12:30着	12:45着	12:35着	12:55着	13:00着
飛騨センター 発	17:50発	17:55発	18:00発	18:05発	18:10発	
高山駅 行	18:05着	18:15着	18:20着	18:20着	18:30着	